



グルモール

JAPANESE SCHOOL, NEW DELHI 2021

<http://www.ndjs.org/>

第6号

令和3年1月29日

今年度もあと2か月となりました。引き続きよろしくお願いたします。

校長 足立 浩

早いもので令和3年(2021年)の1月も末を迎えました。1月は「行く」、2月は「逃げる」、3月は「去る」など、この3ヶ月は早く過ぎるとよく言われます。古くから日本では季節ごとの節目をととても大切にしており、本校も季節ごとの行事を重視してきました。しかしながら、今年度はコロナ禍により学校行事がほとんど実施できませんでした。保護者の皆様のご理解とご協力のもと、人生の節目となる入学式は12月にオンラインで実施することができました。

例年通りの教育活動、学校行事ができない中ですが、2月7日(日)にはオンラインによる学習発表会を実施いたします。オンライン授業のみのため発表会の内容を決めるのは難しかったと思いますが、各学年ともこれまでの学習事項や成果をもとに内容を工夫して決定しました。当日は、画面上で子どもたちの頑張りや学びの成果をゆっくり楽しんでいただければと思います。

また、後期より取りかかっていたニューデリー日本人学校の文集「たいよう」の制作が終盤を迎えています。子どもたちの作文に目を通しますと、コロナ禍での生活の様子やオンライン授業のこと、学校に行けず悩んだり苦しんだりしたこと、それを乗り越えようと頑張っていることなど、様々な題材について書かれていました。学年の発達段階に応じて表現の違いはありますが、コロナに負けず前向きに学ぼう、生きようとする姿勢には私自身胸が熱くなりました。コロナに負けない子どもたちの強い思いを綴った文集「たいよう」が3月初めごろ(予定)に発刊されます。完成を楽しみにお待ちしております。

1月21日(木)の「学校再開に関する保護者説明会」には、ご多用の中ご参加いただきありがとうございました。多くの保護者の皆様のご賛同を得て、日本国大使館のご助言とご指導を受けながら、現在デリー準州政府への要望書提出に向け進めているところです。また、並行して校内の感染予防対策においても、文科省のマニュアルを基本にインドにおけるガイドラインや注意事項を加えて、本校版「衛生管理マニュアル」を作成し、全職員で確認しながら学校再開への体制を整えています。

長い期間学校に登校できない子どもたちが、学校に集って友だちや先生と学習や生活ができるようになる過程は、在外教育施設の設立時の姿を想起させ、日本人学校の原点を学んでいるように思います。56年という長い歴史と伝統のあるニューデリー日本人学校ですが、学校再開時には学校が存在し学校に集える喜びを再認識できることと思います。様々な準備を整え、その日が来ることを待ちたいと思います。

1月26日(火)は、インドの祝日リパブリックデイ(共和国記念日)でした。1950年1月26日にインド憲法が公布され共和国になったことを記念する祝日です。国全体で共和国憲法の成立を祝う式典などの映像を見ると、インドの歴史や文化を少し学ぶ機会を得たように感じました。日本の憲法記念日は5月3日ですが、インドも日本も現在の平和と繁栄の基盤には戦争を含めた多くの苦難があり、その後制定された憲法を尊重していることなど、共通する歴史の一端を知ることができました。

<職員異動のお知らせ>

3月をもちまして、以下17名の職員がニューデリー日本人学校を離任いたします。

No.	氏名	職種	本校勤務	転出先
1	阿部 夏子	教諭	3年	岩手県
2	塚野 博多	教諭	3年	千葉県
3	中西 亮介	教諭	3年	佐賀県
4	宗倉 等	教諭	3年	大阪府
5	大脇 一宏	教諭	2年	静岡県
6	宇田川 順子	教諭	2年	大阪府
7	房村 亜矢	教諭	2年	兵庫県
8	道端 寿奈	教諭	2年	東京都
9	石川 勝彦	教諭	2年	埼玉県
10	佐藤 なつ美	教諭	3年	北海道
11	平磯 彩花	教諭	3年	兵庫県
12	石川 由希恵	教諭	2年	埼玉県
13	伊藤 萌佳	教諭	2年	北海道
14	田京 安純	教諭	2年	愛知県
15	中島 美裕	教諭	2年	大阪府
16	松下 幸代	教諭	2年	福井県
17	横田 拓万	教諭	2年	秋田県

※年度途中退職 吉川里沙支援員（5月末）、菊池真代支援員（7月末）